冬の凍結・破裂に注意!

マイナス４℃以下になると水道管の凍結や蛇口の破裂が多く発生します。天気予報で低温注意報が発表されたときにはご注意ください。

安全上の重要注意事項

①寒波の予報が出たら

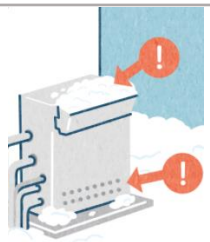
お風呂の給湯栓からごく少量のお水を出しっぱなしにしてください。追い焚き付ふろがまの場合は浴槽に残り湯を残したままにしておいてください。

②給湯機器の電源プラグは抜かない

給湯機器は外気温がある程度下がると凍結予防の安全装置が自動的に作動し、機器本体の凍結を予防します。（水抜きした場合は除く）

③凍結してしまったら

外気温が上がり自然に解凍するまでお待ちください。給湯機器や配管を温めるために熱湯をかけるのはお止めください。機器や配管が破裂する恐れがあります。



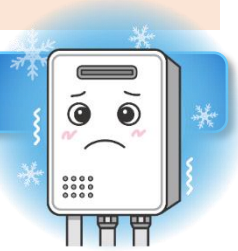
④雪が降り積もったら

給湯機器の給気・排気口や排気筒に積もった雪を取り除いてください。不完全燃焼や異常着火が発生し、事故や故障の原因となります。

給湯機器を使用中や使用後しばらくは排気口付近、排気カバー付近が高温になっていますので注意してください。

- 凍結により機器が破損した際の修理は、保証期間内でも有償修理になります。
- 停電・電源プラグを抜く・ブレーカーを落とす等で機器に電源が供給されない状態では凍結予防ヒーターが作動されませんのでご注意ください。

厳しい冷え込みが予想されるとき



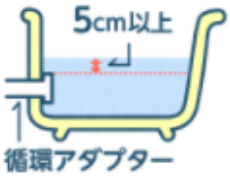
1.お風呂の給湯栓から水を出し続ける

①リモコンの運転スイッチを「切」にする。

お湯を出す給湯栓であれば台所・洗面でもOK。

②お風呂の給湯栓を開き、少量の水を流したままにする。

2.浴槽に残り湯を残しておく（追い焚き付ふろがまの場合）



①浴槽の循環アダプター上部より5cm 以上残り湯（お水）がある状態にしておく。ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて凍結を予防します。

もし凍結してしまったら…

★給湯器のリモコンを「切」にしてください。
（※給湯器の電源プラグは抜かないでください）
★気温の上昇によって自然に解凍するまでお待ちください。
★給湯栓から水が出るようになったら、給湯器やその配管から水などが漏れていないかを確認してからご使用ください。

お困りの際はお電話ください

LINE友だち募集中
友だち追加でお得な情報や特典をGET!
QRコード読み取りで友だち追加♪

東部ガスプ・ラ・ザ
ホームテック株式会社
FROM HEART FROM TECHNOLOGY Home-Tec
〒010-0029 秋田市楢山川口境 6-17
営業時間/8:30～17:30 定休日/お盆・正月
0120-08-2468